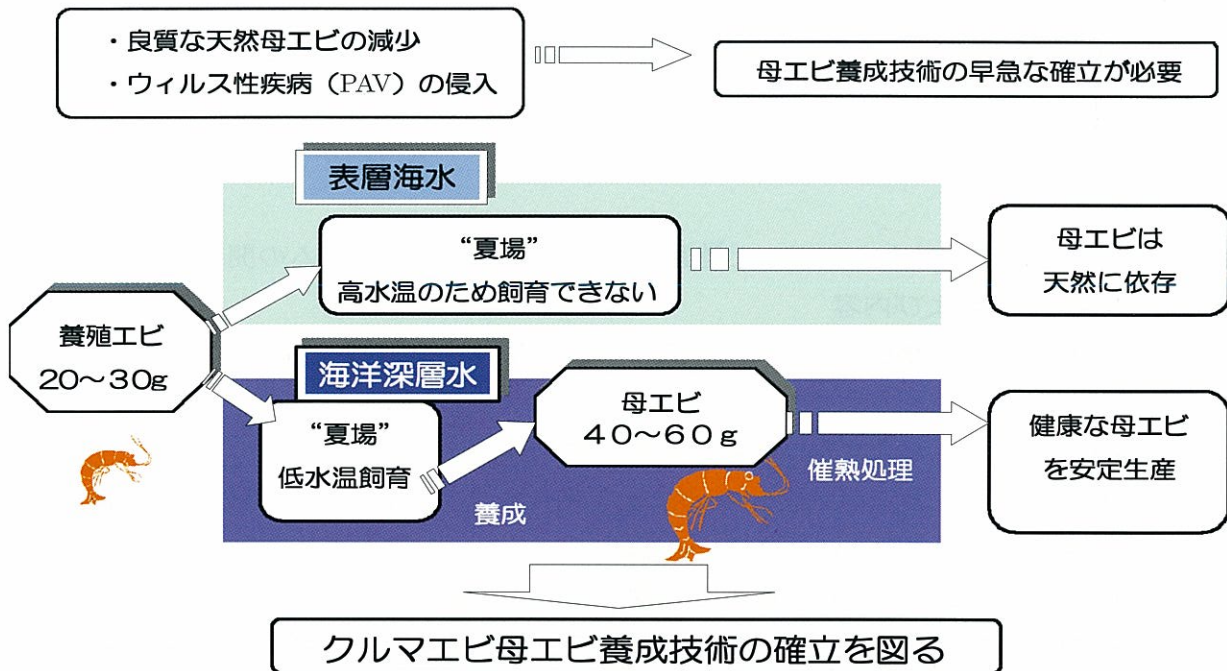


深層水によるクルマエビの母エビ養成

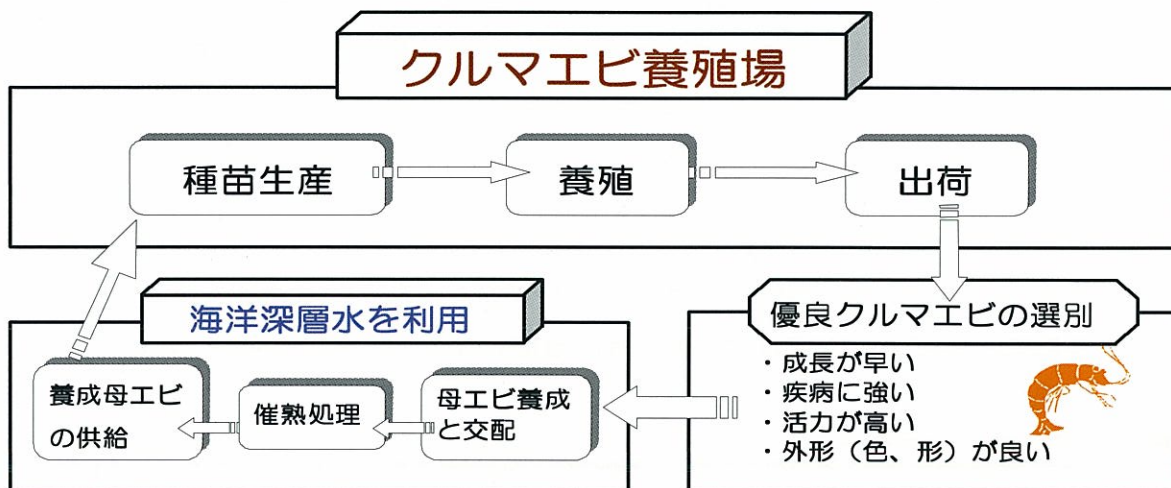
事業名 平成11年度水産業再生ベンチャー創出緊急技術開発

課題名 海洋深層水を利用したクルマエビの母エビ養成技術開発

1. 研究の背景とねらい



2. 母エビ生産および期待される効果



- 【期待される効果】
- 1、母エビの安定生産
 - 2、ウィルス感染症の侵入を防止
 - 3、高品質のクルマエビの生産
 - 4、成長の促進
 - 5、産地ブランドから品種ブランドへの転換

事業概要

●事業の背景および目的

沖縄県のクルマエビ養殖は年々生産量を伸ばし、平成5年には生産額で全国1位を記録するほどの産業に成長した。しかし、近年は良質な天然母エビの漁獲が減少するなか、天然母エビ由来のウイルス性疾病による被害が発生しており、健全な母エビの安定確保が強く望まれるようになった。ウイルス対策としてはウイルスを持ち込まないことが重要であり、安定確保は養殖クルマエビから母エビを生産すれば可能である。そこで、海洋深層水の低水温を利用したクルマエビの母エビ養成技術の確立を事業の目的とした。

●事業実施期間および内容 平成13年～14年度

研究項目／年度	平成13年度	14年度
<ul style="list-style-type: none"> ・ ウイルスフリーの天然母エビからの種苗生産 ・ 養成池での育成 ・ 海洋深層水を利用した母エビ養成と種苗生産 ・ 養成クルマエビの自然交配 ・ クルマエビの人工授精 ・ 養成母エビから得られた種苗の養殖 ・ フサリウム症の感染方法と発育条件 ・ ウイルス検査 	→	
	→	
		→
		→
		→
		→
		→
		→

●事業の実施場所 沖縄県島尻郡久米島町字宇根 402 番地

●主な成果

- ウイルスフリーの天然母エビから種苗を生産し、育成中は毎月1回の頻度でウイルス検査を実施した。
- 育成されたクルマエビの中から成長が早く、色柄の良い個体を用いて海洋深層水を利用した母エビ養成を実施した。
- 養成母エビを用いて人為的な成熟・産卵が可能であることを確認した。
- クルマエビの自然交配には砂が必要であり、人工授精も可能であることを確認した。
- 養成母エビから生産された種苗を用いた養殖が可能であることを立証した。
- フサリウム症の感染方法と発育条件を検討した。

●研究成果の応用範囲

- ・ クルマエビ母エビの安定生産とウイルス性疾病の侵入を防止。
- ・ 選抜飼育による成長促進や疾病対策など育種に関する研究に利用。

●実施組織名 久米島漁業協同組合

●指導・協力機関 沖縄県海洋深層水研究所